



SEIKITOKYU  
KOGYO

●木質系樹脂舗装

# アーバンウッドフレイバー

URBAN WOOD FLAVOR



「アーバンウッドフレイバー」は、製材の端部などの未利用資材を有効活用した木質系チップ材と、ウレタン樹脂を混合した材料を敷き均し、木素材の風合いをそのまま生かすことで、自然環境と調和させた景観舗装技術です。

## 特長

### ●自然環境にとけ込む天然素材

天然素材を使用しているため、公園や遊歩道では、目にも優しく自然環境にとけ込む景観を演出します。

### ●材質を活かした心地よい歩行感

木質系チップを使用していることにより、適度な柔らかさがあり、視覚と足裏から伝わる感触が歩行者に優しい舗装技術です。

### ●優れた透水性

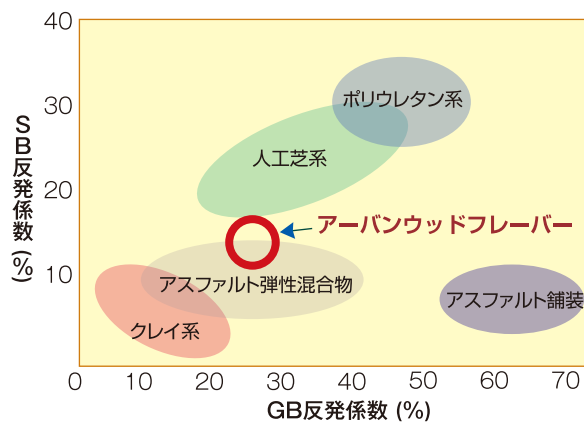
チップ状の木片で形成された舗装体は透水性が高く、水溜りや水はねがほとんど発生しません。

### ●滑り抵抗が大きい

滑りづらい表面仕上がり形状のため滑り抵抗が大きく、転倒の危険性が少なく済みます。

➡全国各地の地場産の木質系チップを使用することも可能です。

\*使用可能か事前試験が必要です。



<参考文献>屋外体育施設の建設指針

\*歩行者系舗装の弾力性を評価するために、SB・GB係数が多く用いられるが、その値が低いほど、衝撃吸収性が高く、足への負担が少なくなります。

### ●透水性比較(JIS A 1218に基づく透水性試験、定水位法)

項目	透水係数
アーバンウッドフレイバー	10 <sup>-2</sup> cm/秒
透水性アスファルト	10 <sup>-2</sup> ~10 <sup>-3</sup> cm/秒
砂	10 <sup>-1</sup> ~10 <sup>-2</sup> cm/秒
火山灰土	10 <sup>-2</sup> ~10 <sup>-3</sup> cm/秒

## 施工例



●経年変化状況事例 ※6年供用後も景観にとけ込み、機能的にも問題はありません。

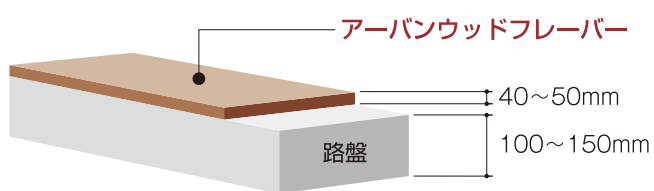
2013年10月施工時



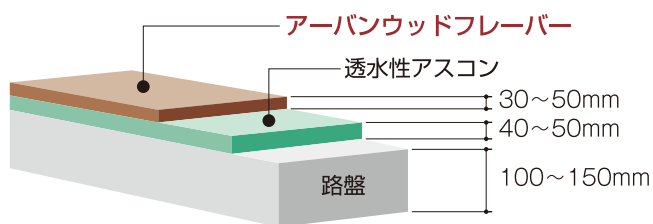
6年経過写真



## 標準断面図寸法



■標準断面1



■標準断面2

## 用途例

公園園路・広場／遊歩道・緑道／ジョギングコース／クロスカントリーコース など



世紀東急工業株式会社

URL : <https://www.seikitokyu.co.jp>

営業部  
環境・景観グループ

東京都港区芝公園2-9-3 〒105-8509